

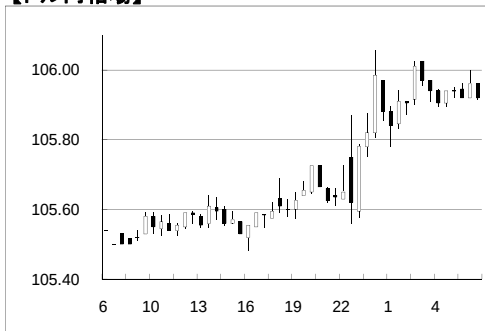
みずほCustomer Desk Report 2020/08/11 号(As of 2020/08/07)

【昨日の市況概要】

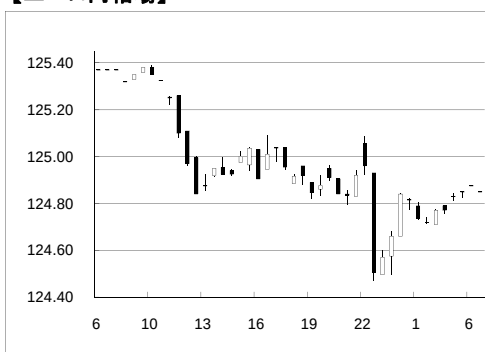
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.59
TKY 9:00AM	105.58	1.1874	125.36	GBP/USD	0.7232
TKY-NY High	106.05	1.1882	125.39		0.7242
TKY-NY Low	105.48	1.1756	124.47		0.7145
NY 5:00 PM	105.92	1.1787	124.85		0.7157
NY DOW	27,433.48	46.50	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	11,010.98	▲ 97.09	日本10年債	0.0100	0.00bp
S&P	3,351.28	2.12	米国2年債	0.1280	1.19bp
日経平均	22,329.94	▲ 88.21	米国5年債	0.2287	1.42bp
TOPIX	1,546.74	▲ 3.14	米国10年債	0.5649	2.78bp
シカゴ日経先物	22,450	20	独10年債	-0.5075	3.30bp
ロンドンFT	6,032.18	5.24	英10年債	0.1375	3.10bp
DAX	12,674.88	83.20	豪10年債	0.8290	▲ 2.60bp
ハンセン指数	24,531.62	▲ 398.96	USDJPY 1M Vol	6.64	▲ 0.64%
上海総合	3,354.035	▲ 32.43	USDJPY 3M Vol	8.12	▲ 0.36%
NY金	2,028.00	▲ 41.40	USDJPY 6M Vol	7.72	▲ 0.36%
WTI	41.22	▲ 0.73	USDJPY 1M 25RR	-1.00	Yen Call Over
CRB指数	146.85	▲ 1.75	EURJPY 3M Vol	8.23	▲ 0.10%
ドルインデックス	93.44	0.65	EURJPY 6M Vol	8.28	▲ 0.15%

東京	東京時間のドル円は105.58レベルでオープン。売り買いが交錯し、105.50近辺で膠着状態。米雇用統計前で、かつ日本は連休前でもあり、16銭と狭い値幅でのレンジ推移となった。結局オープンとほぼ同水準の105.56レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.56レベルでオープンし、午後17時米雇用統計を控えて閑散とした値動きに終始。約20銭の狭いレンジで売り買いが交錯し、105.63レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3126レベルでオープンし、軟調推移。前日の英中銀金融政策委員会では金融政策の据え置きが発表され、ポンドが買われたが、週末を控えて利益確定とみられるポンド売りが優勢になり、1.3073まで下値を切り下げ、1.3077レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は105.63レベルでNYオープン。注目の米7月雇用統計は、非農業部門雇用者数や平均時給が予想を上回ったほか、失業率が予想を下回り、総じて予想より強い結果となったことから、米株先物や米金利の上昇とともにドル買いで反応し105.87まで上昇。しかし、買いは長続きせず、上に往ってこい。その後、米政府が香港政府のトップら11名に制裁を科すことが伝わると、次第にリスクオフのドル買いが強まり、一時106.05まで上昇。しかし、コロナウイルス問題の追加経済対策を巡る米と野党の協議が混迷する中、更なる上値重いは限定的だった。午後に共和党と民主党幹部が再び景気対策協議を行うと伝わるも、その後シューマー上院内総務やムーン米財務長官が交渉に進展がなかったことを示唆しており、合意の目途が立たない中、ドル買いの流れが一巡し、106円手前で推移。結局、105.92レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.1818レベルでNYオープン。朝方は雇用統計の結果にドル買いが反応し、1.1802まで下落するも、直ぐに1.1846まで反発上昇。その後、米中対立が意識される中、リスクオフのドル買いが先行。また、ユーロドルは6週間連続で上昇を続けていたこともあり、ポジション調整の売りもみられる中、1.1800を割り込み、一時1.1756まで下落。午後はドル買いが一巡し、1.1787近辺で推移。週末を前に積極的な取引が手控えられる中、次第に小動きとなり、1.1787レベルでクロス。

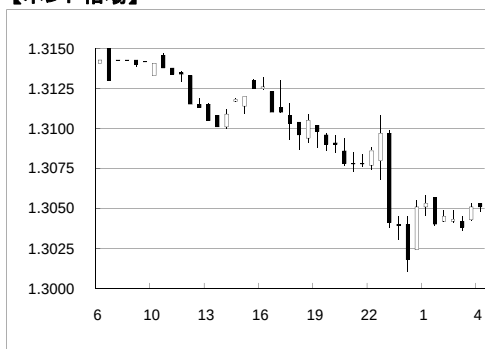
【ドル円相場】



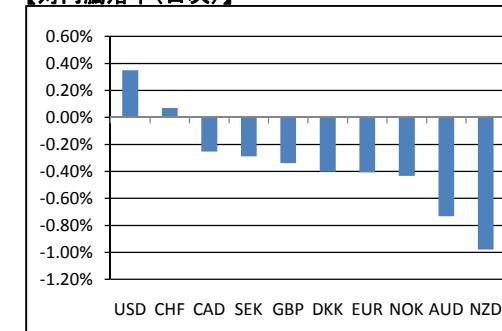
【ユーロ円相場】



【ポンド相場】



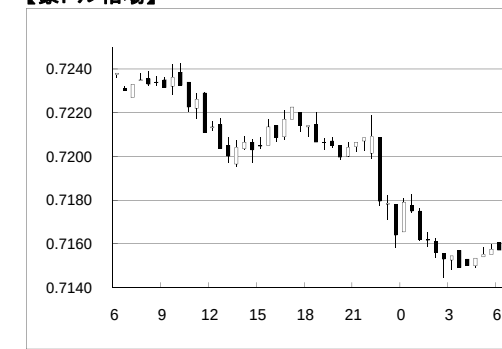
【対円騰落率(日次)】



【ユーロドル相場】



【豪ドル相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

みずほCustomer Desk Report 2020/08/11 号(As of 2020/08/10)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	-
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	105.86	1.1783	124.72	1.3061	0.7157
SYD-NY High	106.20	1.1801	124.78	1.3103	0.7184
SYD-NY Low	105.72	1.1736	124.36	1.3020	0.7141
NY 5:00 PM	105.97	1.1737	124.42	1.3073	0.7150
NY DOW	27,791.44	357.96	日本2年債	-	-
NASDAQ	10,968.36	▲ 42.63	日本10年債	-	-
S&P	3,360.47	9.19	米国2年債	0.130	0.20bp
日経平均	-	-	米国5年債	0.237	0.79bp
TOPIX	-	-	米国10年債	0.580	1.48bp
ソゴ日経先物	22,515.00	65.00	独10年債	-0.5260	▲1.85bp
ロンドンFT	6,050.59	18.41	英10年債	0.1285	▲0.90bp
DAX	12,687.53	12.65	豪10年債	0.8710	4.20bp
ハンセン指数	24,377.43	▲ 154.19	USDJPY 1M Vol	6.34	▲0.30%
上海総合	3,379.25	25.22	USDJPY 3M Vol	7.95	▲0.17%
NY金	2,039.70	11.70	USDJPY 6M Vol	7.58	▲0.15%
WTI	41.94	0.72	USDJPY 1M 25RR	-0.96	Yen Call Over
CRB指数	147.58	0.73	EURJPY 3M Vol	7.96	▲0.27%
ドルインデックス	93.58	0.15	EURJPY 6M Vol	8.10	▲0.18%

アジア	アジア時間のドル円は105.86レベルでオープン。東京やシンガポール市場休場に伴う薄商いに加え、前週末に米雇用統計を通過したこともあり新規材料に乏しく、ドル円は105.80を挟んだ極めて狭いレンジでの推移。結局、アジア時間は13銭の狭い値幅となり、105.78レベルで海外時間に渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.78レベルでオープンし、薄商いで動意に乏しい値動き。朝方はドル買いが優勢となり、一時106.20まで上値を伸ばした。その後106.14レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3067レベルでオープンし、米ドルに振り回される値動き。1.3020—1.3088の狭いレンジで売り買いが交錯し、1.3035レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルーパー 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、東京市場が祝日で休場となる中、105.80近辺での小動きでスタート。欧州時間は対ユーロのドルの買い戻しが優勢となる。早期に中国が米議員ら11人に制裁を科すと伝わり、米中関係悪化を懸念したリスクオフのドル買いが強まり、106.20まで上昇し、106.14レベルでNYオープン。朝方は主要な米経済指標の発表が予定されておらず、米金利の低下を手掛かりに105.72までじりじりと下落。しかし、米国のコロナウイルス問題追加経済対策や米中対立の行方を見極めたい雰囲気も強いほか、米金利が持ち直したことから、この水準で下げ止まる。午後は新規売りばかり材料が乏しく、米金利の上昇と米株が上げ幅を拡大する動きを模しドル円はじりじりと上昇。しかし、106円台回復には至らず、結局、105.97レベルでクローズ。海外市場のユーロドルは1.1800手前での小動きでスタート。1.1801まで上昇する場面もあったが、欧州時間に入るとドルの買い戻しが強まり、1.17台半ばまで反落。早朝に1.1741まで下落し、1.1754レベルでNYオープン。朝方は米金利の低下傾向が重なり、早朝のドル買いが一巡。ポンドなどとの欧州通貨とともにユーロも買い戻され、1.1792まで上昇。しかし、1.18台には届かず、朝方の上昇分をすべて吐き出す。午後は米金利の上昇を受けて、ドル買い優勢の展開。終盤に安値1.1736をつけ、結局、1.1737レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前無断にに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断であるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はすべて引用元へ帰し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当資料は本情報に無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：尾身・松本 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月7日	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	6月 8.9%	8.2%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	7月 1763k	1480k
	21:30	米 失業率	7月 10.2%	10.6%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	7月 0.2%/4.8%	-0.5%/4.2%
8月10日	10:30	中 PPI(前年比)	7月 -2.4%	-2.5%
	10:30	中 GDI(前年比)	7月 2.7%	2.6%

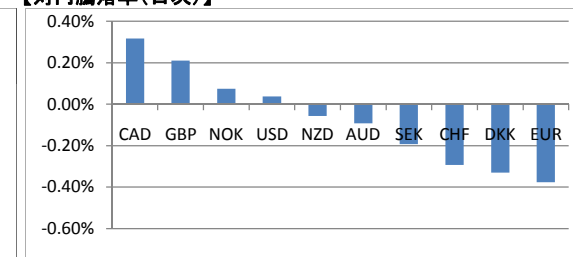
【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回
8月11日	18:00	独 ZEWS景気調査(期待/現状)	8月	55.8/-69.5	59.3/-80.9
	18:00	欧 ZEWS景気期待指数	8月	-	59.6
	21:30	米 PPI (前月比/前年比)	7月	0.3%/-0.7%	-0.2%/-0.8%
8月12日	00:00	米 バークキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-	-
	01:00	アメリカ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【ドル/円相場について】

週末のドル円は106円近辺で堅調推移となった。金曜日に発表された米雇用統計の結果が予想比良好な結果となり、ドル買いが優勢となった。また、米追加財政支援協議がまとまらなかった為、週末にトランプ大統領は失業給付の増額など大統領令を発動したことも好感された。

本日もドル円は堅調な推移が継続すると予想している。但し、米財政支援協議の難航や米中関係の悪化などリスクを抱えている為、ドル円の上値も限定的となるだろう。また、今朝ほどトランプ大統領演説中にホワイトハウスの外で発砲事件があったことが伝わっているが、大統領に大事はなく相場への影響は限定的だった。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ペア	ペア	フル	フル	フル	ペア	ペア	フル	ペア	ペア	ペア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	淺見	木村		ブル	ペア
フル	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	フル	ペア	ペア		6	14